

受賞者からのコメント

● 授業を行うにあたって工夫していること

授業では座学で学ぶ知識と臨床場面での作業療法との繋がりを学生が実感できるように、視聴覚教材の作成や PBL 形式の授業を行っている。学生に理解しやすい授業内容を心がけているが、理解が難しいが習得すべきことがあることを、これまでの臨床活動での経験を交えて伝えている。

● 学生への要望・アドバイス等

学生の中に多くの経験をすることは重要であり、サークル活動やボランティア活動などに積極的に取り組むことは否定しません。しかし、リハビリテーション専門職は対象者の生活や人生を支える職種の一つであり、知識に基づいた介入ができなければ存在価値がないと思います。取り組むべき活動の優先順位を常に自問して、学生生活を過ごしていただきたいと思います。